

高校生用 ライフプランニング学習副読本「考えようふるさと秋田とわたしの未来」

活用状況調査集計結果（令和7年度）

調査対象：県内高等学校 50校（県立：43校、市立：2校、私立：5校）

※分校、地域校を含む。

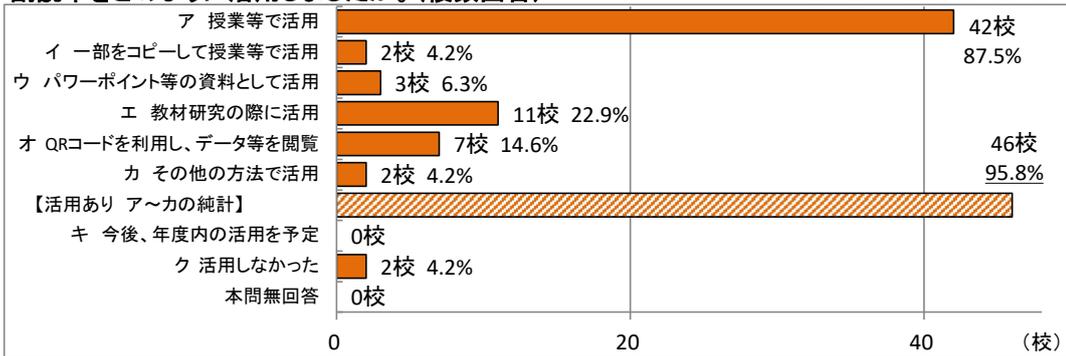
※全日制課程及び定時制課程を併設する高等学校については、各課程における活用状況を統合して1校として集計しています。（通信制課程は調査対象から除外しています。）

◎回答率 96.0%（回答48校／対象50校）

◎活用率 95.8%（活用46校／回答48校）

問1 副読本をどのように活用しましたか。（複数回答）

※調査への回答があった48校中

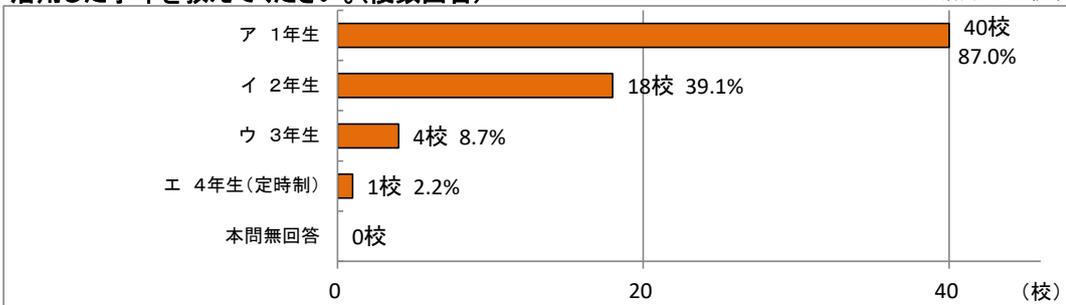


活用方法「カ その他の方法で活用」の主な回答
・各ホームルームで配布し、担任から説明を加えた。

活用状況「ク 活用しなかった」の理由の回答なし

問2 活用した学年を教えてください。（複数回答）

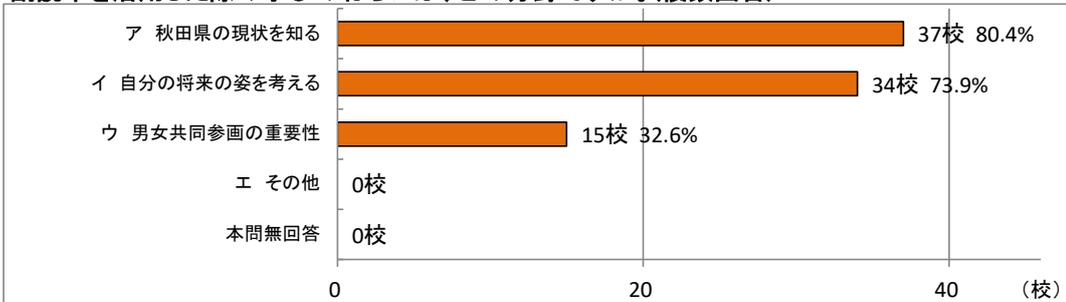
※活用した46校中



※1年生～3年生には、定時制の課程における各学年を含む。

問3 副読本を活用した際の学びのねらいは、どの分野ですか。（複数回答）

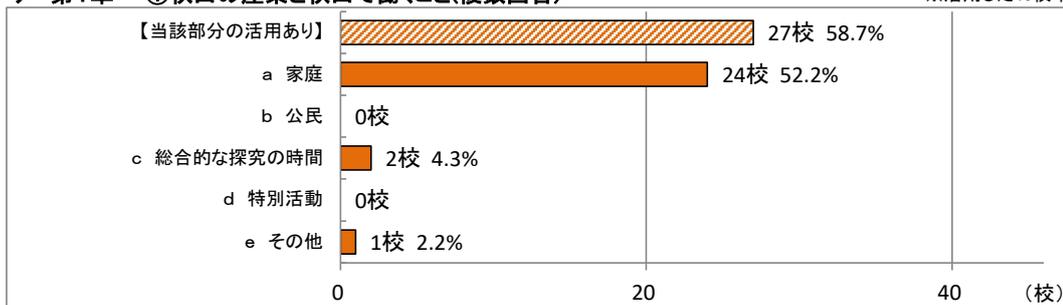
※活用した46校中



問4 副読本のどの部分を、どのような場面で活用しましたか。

ア 第1章 ①秋田の産業と秋田で働くこと(複数回答)

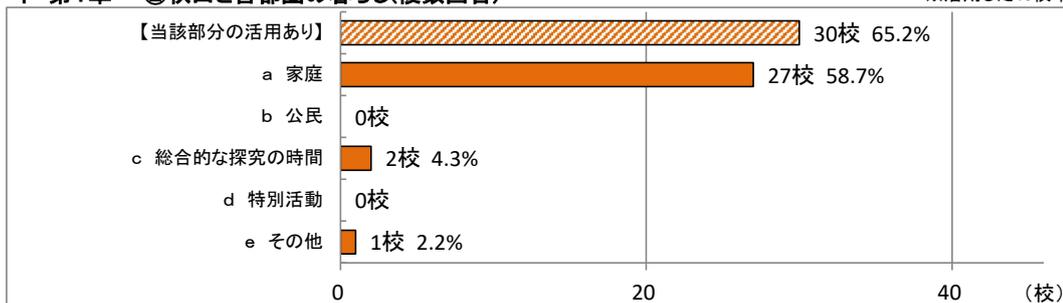
※活用した46校中



※活用場面「e その他」の具体的な場面の回答なし（問4イ～オにおいて同じ。）

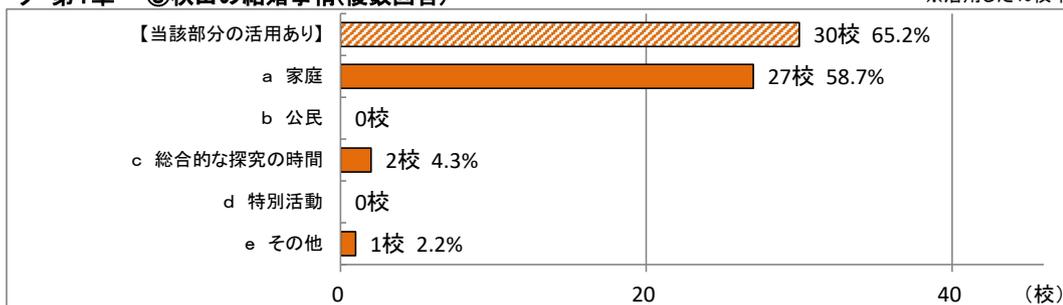
イ 第1章 ②秋田と首都圏の暮らし(複数回答)

※活用した46校中



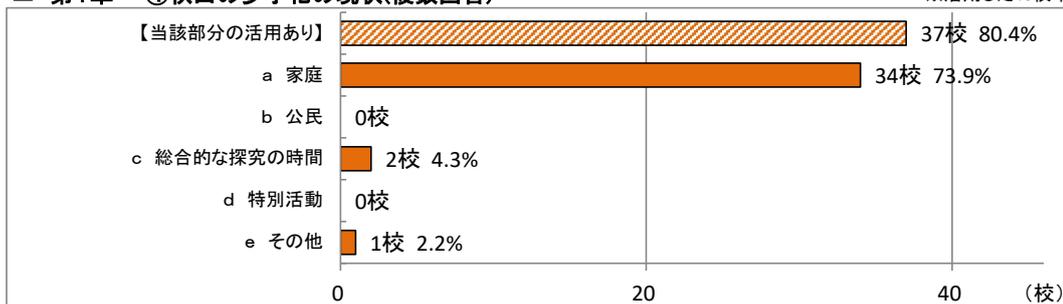
ウ 第1章 ③秋田の結婚事情(複数回答)

※活用した46校中



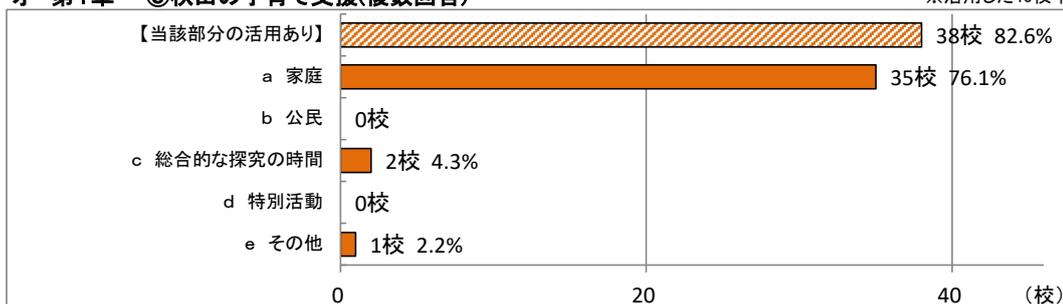
エ 第1章 ④秋田の少子化の現状(複数回答)

※活用した46校中



オ 第1章 ⑤秋田の子育て支援(複数回答)

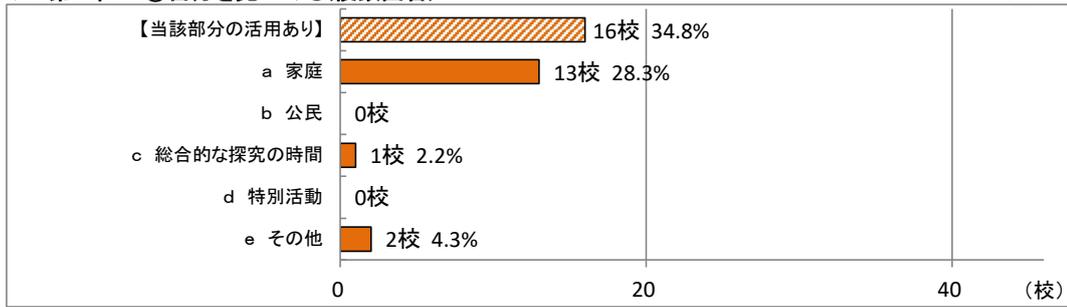
※活用した46校中



(続き:問4 副読本のどの部分を、どのような場面で活用しましたか。)

カ 第2章 ①自分を見つける(複数回答)

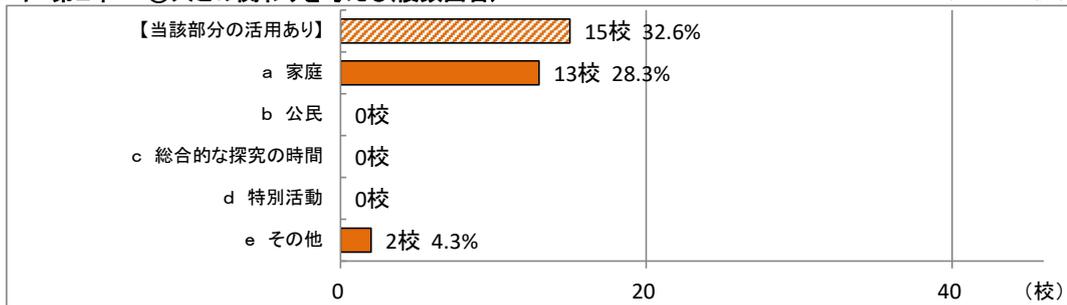
※活用した46校中



※活用場面「e その他」の具体的場面の主な回答
・学校設定科目(2年生教養国語)(問4キ~コにおいて同じ。)

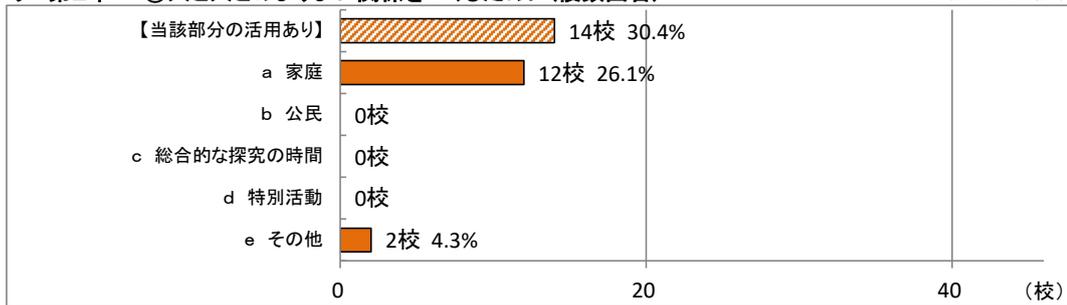
キ 第2章 ②人との関わりを考える(複数回答)

※活用した46校中



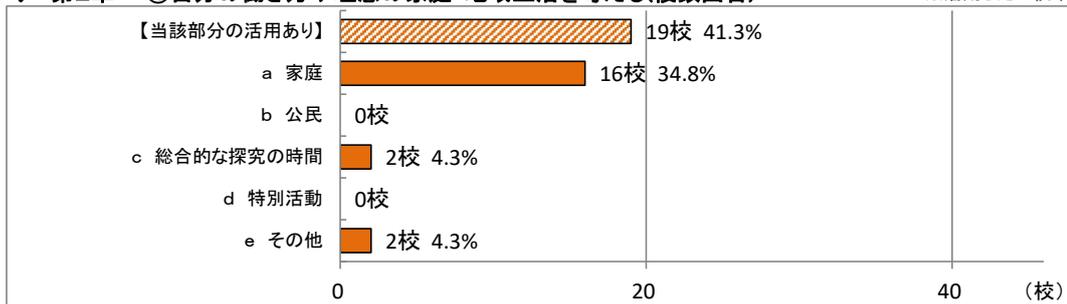
ク 第2章 ③人と人とのよりよい関係をつくるために(複数回答)

※活用した46校中



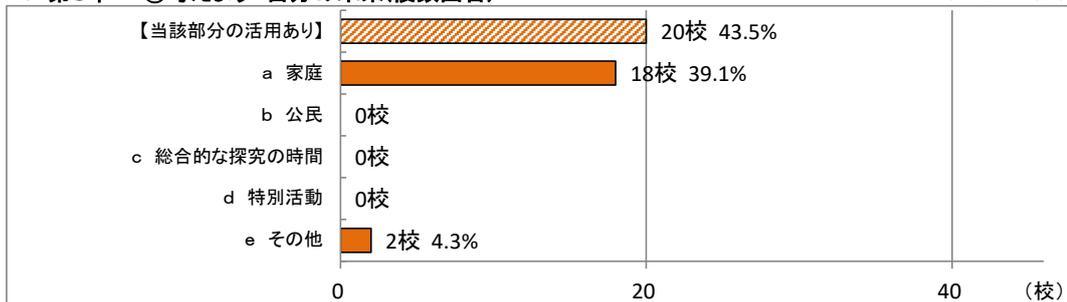
ケ 第2章 ④自分の働き方や理想の家庭・地域生活を考える(複数回答)

※活用した46校中



コ 第3章 ①考えよう 自分の未来(複数回答)

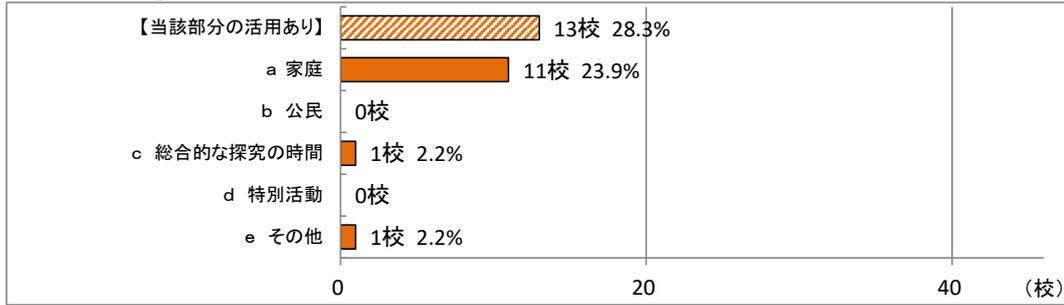
※活用した46校中



(続き:問4 副読本のどの部分を、どのような場面で活用しましたか。)

サ 第3章 ②考えよう 地域の未来(複数回答)

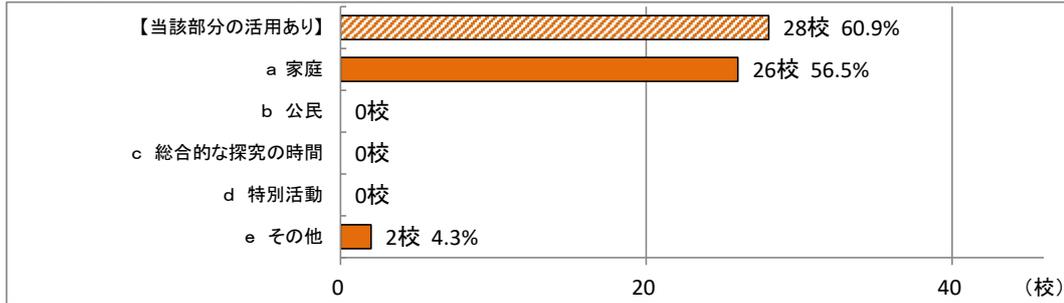
※活用した46校中



※活用場面「e その他」の具体的場面の回答なし(問4シにおいて同じ。)

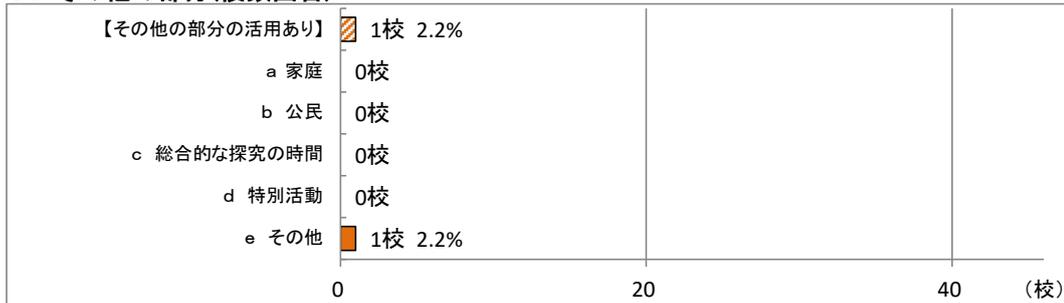
シ 第3章 ③ライフプランを考えよう(複数回答)

※活用した46校中



ス その他の部分(複数回答)

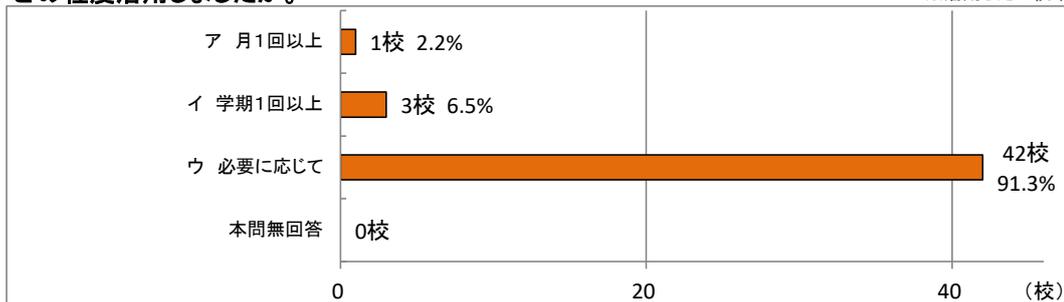
※活用した46校中



活用した「その他の部分」の具体的部分、活用場面「e その他」の具体的場面の回答なし

問5 どの程度活用しましたか。

※活用した46校中



「ア 月1回以上」の活用頻度

※「ア 月1回以上」の回答1校中

月1回程度	1校
-------	----

「イ 学期1回以上」の活用頻度

※「イ 学期1回以上」の回答3校中

活用頻度	2学期制の学校	3学期制の学校
一学期当たり1回程度		1校
一学期当たり2回程度		1校
一学期当たり3回程度・それ以上	1校	

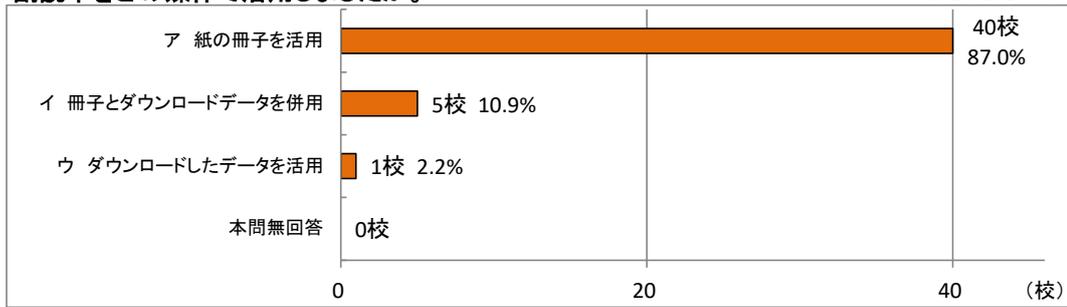
「ウ 必要に応じて」の活用頻度

※「ウ 必要に応じて」の回答38校中(年間回数無回答4校を除外)

活用頻度	校数
年間1回程度	11校
年間2回程度	13校
年間3回程度	9校
年間4回程度・それ以上	5校

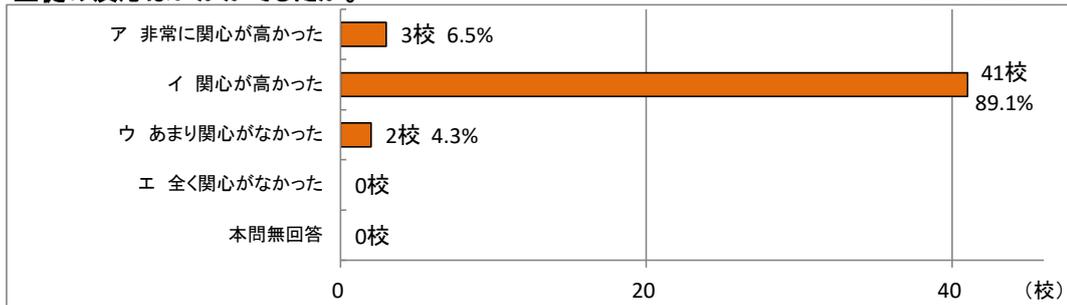
問6 副読本をどの媒体で活用しましたか。

※活用した46校中



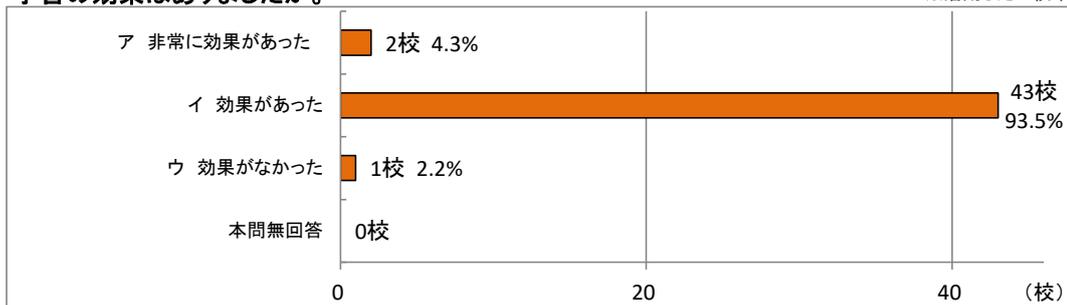
問7 生徒の反応はいかがでしたか。

※活用した46校中



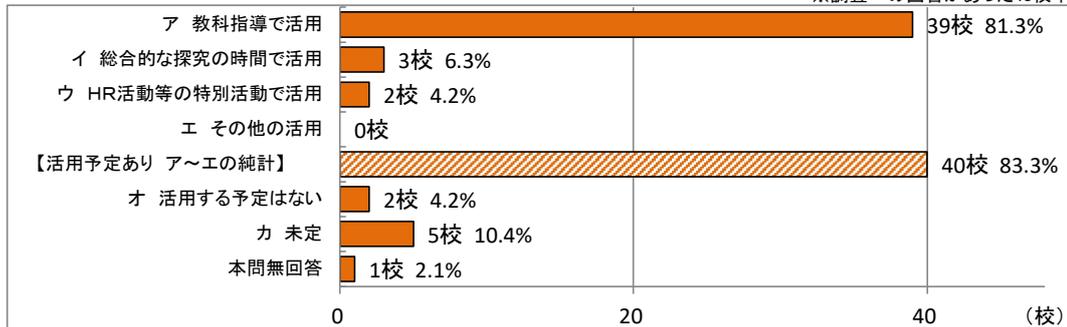
問8 学習の効果はありましたか。

※活用した46校中



問9 令和8年度は、副読本をどのように活用する予定(活用したい)ですか。(複数回答)

※調査への回答があった48校中



問10 副読本の内容等についての感想、意見等を自由に記入してください。

添付「問10 副読本の内容等についての感想、意見等（高等学校・R7）」を参照

問10 副読本の内容等についての感想、意見等（高等学校・R7）

<p>主に副読本の内容に関する感想、意見等</p>
<p>以前載せていた、秋田県が全国1位のものを再度載せてほしい。秋田県のよいところをPRしてほしい。</p>
<p>p 5 秋田と首都圏の暮らし * 資料の数字そのままに「物価も安く、労働や通勤の時間が短く自由時間が長いから秋田がいいよね」と短絡的になることへの懸念がある。 * 秋田のほうが労働や通勤時間が短い理由や、なぜそのような違いが出るのかを生徒に考えさせるようにしているが、産業構造（職種）の違いや、通勤手段の違いなどのデータもあると進めやすい。</p>
<p>秋田県の現状を知りるには良い冊子だと思います。</p>
<p>秋田の産業が紹介されており、進路活動の資料としても有効であると感じました。</p>
<p>秋田県に関する新しい資料が掲載されており、参考になります。 一方、データの対象（秋田県のものか全国のものか）やその単位の掲載がない等、生徒にとってややわかりにくい図表もあったので見直しの検討をお願いします。</p>
<p>データが最新のものなので、秋田県の現状を知るうえで活用しやすい。 ライフプランの表が70歳までとなっており、人生100年時代の今、少々使いにくさを感じる。</p>
<p>ライフプランを考える際、秋田で活躍している方のライフステージやライフイベントなども紹介していただけると、生徒にとって参考になるかと思いました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・秋田県で暮らしながら首都圏など他の地域でリモート等で仕事ができる企業があれば紹介してほしい。 ・高齢期について考えるための資料が少ないと感じる。福祉や介護に関する情報をもっとあると良い（介護する側やされる側等、秋田県の福祉サービスに関する情報）。 ・例年入学者定員分の部数を送付していただけていますが、全県的に入学者数の減少が続いており、中央地区以外の学校はかなりの部数が余って廃棄されることになっているように思います。
<p>QRコードにより、授業外でも各自で興味関心を持って積極的に検索している様子が見られた。特に、県内企業や就職に関する情報は本校ではあまり触れる機会がないため、奨学金補助等も含めて関心を持って調べている場面を目にした。また、毎年少しずつ情報がアップデートされているため、教師側も最新で正しい情報を知る良い機会になっていると感じている。県外志望の生徒も秋田での就業に興味を持つような、新しい企業（企業家）の情報やリモートワーク、二拠点生活などの情報もあると、より生徒の興味関心が高まりそうだなと感じました。 授業時間以外に冊子を開いてQRコードをから資料を読んでいる生徒がいた。 個人の関心に応じて内容が深めることができよと感じた。</p>
<p>秋田の現状を知るために、様々な資料が掲載されているため自分事として捉えやすいです。この副読本を通して、人生の計画は「なんとなく考える」ではなく、自分の考えを書き出して整理することが大事だと気付く生徒もいました。</p>
<p>今年度版から表紙に氏名欄ができたのは有り難いが、学年・クラスのほか、出席番号の欄もほしいです。 令和7年度に国勢調査が終わったので、データの更新をお願いしたいです。</p>
<p>主に副読本の活用に関する感想、意見等</p>
<p>秋田県の現状や取り組みを知ることができ、いつもありがたく活用させていただいています。自分が住んでいる地域の情報を得ることで、様々な地域の課題を自分事として捉えるきっかけになっていると感じています。昨年も記入させていただきましたが、「秋田ではやりたいことや新しいことはできない」と考えている生徒も多いため、そうではないということを伝えられるよう、秋田で起業した方や若者を支援する事業などの紹介があるといいと考えます。また、子育て期までの内容は充実していますが、高齢期についての内容も取り入れていただけると、生涯を見通す力を育むことに少しでもつながるのではないかと考えます。 様々な情報や動画などをQRコードで気軽に見られてよいですが、効果的に活用することができなかったのも、今後うまく活用できるようにしていきたいです。他校さんでは冊子をどのように活用されているのか知ることができればありがたいです。</p>
<p>今年度は時間がなかったため、1回のみでの活用でしたが、次年度以降はもう少し活用したいと考えています。</p>
<p>今年度は、1年生の総合的な探究の時間で活用する時間が取れなかったが、一人一人に配付し活用を促した。また、今後2年生の家庭基礎で活用できないかを検討していきたい。</p>
<p>秋田で就職を希望する生徒が多いため、秋田の少子化現状や子育て支援について学ぶために活用した。</p>
<p>秋田県の産業や子育て環境などについて理解を深めながら、ライフプランを考えさせることができました。</p>
<p>今年度は、年度初めと学年末の計2回、ライフプランを検討する際に副読本を活用した。授業を通して、本県の少子高齢化の解決に興味・関心を抱いている生徒が多いとわかったので、来年度は副読本をより積極的・効果的に活用したい。</p>
<p>P. 17のライフプランの記入例を参考にして、自分のライフプランについて考えさせることができた。</p>
<p>問6・問7については、「少子化」や「子育て支援」についての学習では、生徒が関心を持って学習に取り組んでいる様子が見られたが、副読本の効果であるかどうかについて判断することは難しいように思います。 問9については、教科の目的や内容に見合った教材を検討して、最善であれば使用を考えたいと思います。</p>
<p>自分が暮らす地域に関心を持つきっかけになるとよいと思いながら、授業で活用しました。</p>

問10 副読本の内容等についての感想、意見等（高等学校・R7）

（続き）主に副読本の活用に関する感想、意見等
「家族・家庭を見つめる」の単元で活用しました。その中で秋田の現状を冊子を活用して説明できました。特に「結婚」に関してのデータについて関心が高かったです。また、それに関する事業を話題にしてクラス内で意見交換が自発的に起きました。
p 16～p 17 ライフプランを生徒に作成させました
副読本の形態や配付に関する事項を含む感想、意見等
紙の冊子は不要だと思います。データを送信していただければ、授業等に十分活用できます。
ダウンロード版の方が活用しやすいと感じました。
新年度になってから希望調査等を行ったうえで学校への配布をしていただけるとありがたいです。